

令和4年度 確かな学力向上推進プラン

令和4年4月1日現在  
江戸川区立篠崎小学校

学力向上に向けた目標値												
成果指標：都学力調査における到達目標値を越えた人数の割合（都平均との差）						成果指標：全国学力調査における平均正答率（都平均との差）						
教科	平成30年度結果		平成31年度目標値		平成31年度結果		令和2年度目標値	令和2年度結果	令和3年度目標値	令和3年度結果本校	令和4年度目標値	令和4年度結果本校
国語	16問	-11.2%	14問	-8.4%	14問	-11.0%▼	問	%	-10%	-10%● (都68% 本校58%)	-9%	
社会	17問	-9.7%	14問	-7.2%	14問	-2.4%●	問	%				
算数	25問	-8.9%	24問	-6.6%	24問	-5.1%●	問	%	-5%	-10%▼ (都74% 本校64%)	-9%	
理科	15問	-14.9%	14問	-11.1%	14問	-8.2%●	問	%			-8%	

○東京都の学力調査の内容変更に伴い、区としての学力向上に向けた目標値の設定に、令和3年度より、「全国学力・学習状況調査」を用いることとなった。

学力向上に向けた取組							
論点	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間、授業の初めに「めあて」を確認して内容への見通しや心構えを持たせ、終末に「振り返り・まとめ」の場をもつことで、内容の定着を図る。</li> <li>算数科は、第3～6学年の習熟度別指導をはじめ、必要によっては、学年を越えて未習熟箇所へ立ち戻ることも含め、徹底して確実な習得をさせる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や計算練習は、ミニテスト実施等によりステップで確実に身に付けさせる。</li> <li>学習用タブレットでのオンライン活用によりスキル学習の場を設けて底上げを図る。</li> <li>外部講師による補習教室を実施し、一人一人の課題に即した指導を行う。</li> <li>放課後補習の時間を年70回程度設定し、学年・学級で活用する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>都平均との差を縮める (全国学力調査)</li> <li>前年比を超える</li> </ul>	
論点2 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>望ましい学習スタイルやルールを示し、安心して授業に参加できる教室を作る。</li> <li>事前の机上準備、机着席、学習の構えを確認してからの挨拶で授業を始める。</li> <li>安定した姿勢で取り組めるよう、腰掛け方、手足の位置、背筋等を正させる。</li> <li>工具箱やロッカー等所定の場所に戻し机上は必要な物だけにする習慣を付けさせる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で系統立てて指導している「話の聞き方・話し方・具体的な話型」を基に、呼名後の返事や適切な声の大きさ、聞き手話し手の体の向きや視線等について繰り返し指導し、特に、授業を遮る不規則発言を慎むことを徹底させる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話やスマートフォン、タブレットの使い方について家の人と約束したことを守っている。 (全国学力調査) 80%</li> </ul>	
論点3 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>「篠崎小4つのあ～あつまり、あいさつ、あとしまつ、ありがとう。」について、キャラクター「しのあちゃん」を通して浸透させながら、常に指導を重ねる。</li> <li>「健康ふりかえりカード」を活用し、家庭と連携して、早寝(低21時、中21時半、高22時)・早起き(7時)、朝ご飯、洗顔、歯磨き、排便等の生活リズムを整える。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な情報交換の場に加え、生活指導に特化した打ち合わせを毎週行い、現状や課題、手立てについて共通理解を図り、全職員で篠崎の児童をみる体制を続ける。</li> <li>SNS東京ノート活用週間をはじめとした継続指導で情報収集と問題予防を図る。</li> <li>高学年児童のリードによる「ろうか歩行見守りキャラソン」「校帽チェック週間」を実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日同じくらいの時間に寝ている。起きています。 (全国学力調査)</li> <li>寝る80%起きる90%</li> </ul>	
論点4 家庭学習の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習「学年×10分以上」、授業内容定着を図りつつ予習としての課題も出す。</li> <li>年度当初の保護者会で、宿題の意義や目的、内容や取組方法を伝え協力を要請する。その後年間を通して、よい取り組みを紹介しながら、繰り返し丁寧に説明する。</li> <li>個人面談の機会をはじめ、必要に応じて学習に関する相談を行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自力で答えられない児童へは、休み時間等を使って補充の指導を行う。</li> <li>指定課題以外の「自主学習」を励まし、自ら課題を把握して解決する力をつける。</li> <li>低学年での丸付けや音読カードの確認等、保護者が家庭学習に関わる場を意図的に取り入れることで、学習状況を把握できるようにし、関心をもていただく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>家で自分で計画を立てて勉強している。 (全国学力調査)</li> <li>67%</li> </ul>	
論点5 言語に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究を核に、主題「仲間と共に伸びる子」をめざし、講師の指導に基づく「対話的な学び」として、個人でじっくりと考える場を保障し、それをペアやグループ、さらに、学級全体にて話し合った上で個人に戻す展開を通して「深い学び」の実現を図る。</li> <li>全国5紙の閲覧コーナーを設け、生活に関わる情報を活字から得る習慣を付ける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書1000分以上や「手の届くところにいつも1冊の本を」等の取組、ボランティアや異学年交流、読書イベント等様々な形での読み聞かせを通し本好きな児童を育てる。</li> <li>学習・情報センターとしても「しのあ図書館」を整備し、各教科や総合、読書科と関連させて探究的な活動の充実を図り、主体的に読む児童、問い続ける児童を育てる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできた。 (全国学力調査)</li> <li>67%</li> </ul>	
論点6 教員の学習指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職による観察と指導による授業改善。</li> <li>全員の校内研究授業～事前の検討会。専門の講師を迎える授業研究会。</li> <li>教育課題に応じた校内研修会の実施～英語・ICT・特別支援教育・服務</li> <li>若手、中堅教諭による自主研修会(篠研)の毎月実施。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>校外の研究会や研修会参加と、各教科部からの伝達や資料共有により、指導観、教材観等の理論の強化、実践事例の周知を図る。</li> <li>～区小教研、研究校の発表会、職層・経験に応じた研修、専門性向上研修。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の勉強は好き。授業の内容はよく分かる。 (全国学力調査)</li> <li>好き67% わかる80%</li> </ul>	

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点					
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読む時、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像するに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読む時、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもつことに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読む時、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読む時、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読む時、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読む時、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに指導の重点を置く。</li> </ul>
社会			<ul style="list-style-type: none"> <li>篠崎周辺の地域や自分達の区の様子を大まかにとらえるため、鉄道、道路、川等の名称を理解することに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都、国の概要をとらえるため、東京23区、都道府県の名称と位置を理解することに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界における我が国の位置、領土の範囲などをとらえるため、必要な名称を理解することに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の大まかな歴史をとらえるため、歴史上の主な事象名、その内容を理解することに指導の重点を置く。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算が確実にできることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算が確実にできることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異分母分数の加法及び減法の計算が確実にできることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数の乗法及び除法の計算が確実にできることに指導の重点を置く。</li> </ul>
理科			<ul style="list-style-type: none"> <li>差異点や共通点を基に、問題を見だし、主体的に問題解決できることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、主体的に問題解決できることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、主体的に問題解決できることに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決することにより、規則性及び働きについて、より妥当な考えが作りだせることに指導の重点を置く。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然に親しむことで、対象への気づきや愛情を育み、学校や家庭での生活上必要な習慣や技能を身につけることに重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然に親しむことで、対象への気づきや愛情を育み、篠崎小学区内の町の様子を捉え人々との関わりを体験することで、安全やマナーに関する習慣の習得に重点を置く。</li> </ul>				
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を感じ取って、楽曲にあった歌唱をする活動、音楽に合わせて体を動かし、音楽の仕組み等に気付きながら楽しく聞く活動に重点を置く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>発声や発音を意識して歌唱する活動、身体表現で曲の仕組みを理解する活動に指導の重点を置く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>低音域の発声を意識して合唱する活動、様々な国の音楽のよさに触れて曲想の違いを感じ取る活動に指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を生かして合唱する活動、日本と諸外国の音楽を聴いて演奏のよさを理解する力を高める活動に指導の重点を置く。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>かいたり、つくったりしながら、思いのままに体全体の感覚や機能を働かせることに重点を置く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、自分なりの技能や表し方を工夫する活動に重点を置く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫することに重点を置く。</li> </ul>	
家庭					<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養のバランスのとれた食生活の大切さに気付くため、栄養素の働きを理解することに指導の重点を置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事と健康状態の関係を捉えるため、栄養素の主な働きによる食品のグループ分けをして、一食分の献立を立てることができるよう指導の重点を置く。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びにすすんで取り組み、きまりを守り、誰とでも仲良く運動し、運動遊びの楽しさに触れながら、基本的な動きを身に付けることに指導の重点を置く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>運動にすすんで取り組み、友達の考えを認めたり、最後まで努力して運動したりし、基本的な動きや技能を身に付けることに指導の重点を置く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>運動に積極的に取り組み、仲間の考えや取組を認めたり、自己の最善を尽くして運動したりし、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けることに指導の重点を置く。</li> </ul>	